

令和 3年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：農産物安全課
担当名：安全生産・有機担当
内線：4049

(単位：千円)

事業名				会計	款	項	目	説明事業	
番号	S－G A P加速化推進事業			一般会計	農林水産業費	農業費	農業経営普及費	安全安心農産物確保対策費	
B17									
事業期間	令和 3年度～	根拠法令	なし		宣言項目	09 儲かる農業の推進		SDGsゴール	
	分野施策				020413 食の安全・安心の確保		SDGsターゲット		
1 事業の概要 県民生活におけるリスクを減らし、安全・安心の確保が求められる中、S－G A Pの取組の普及拡大を加速化させて、安全安心な農産物を広く県民に供給する。 (1) 安全安心農産物生産基地づくり △2,160千円 新型コロナウイルスの影響で一部研修がオンライン開催または中止になったことによる減額 (2) S－G A P認知度向上 △234千円 経費削減による減額 (3) S－G A P普及推進 △563千円 開催要件（制度改正等）が整わず会議を開催できなかったことによる減額				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 安全安心農産物生産基地づくり S－G A P実践農場の集団評価の促進を図るため、マニュアルの作成や研修会等の開催を行う。 4,787千円 ・集団評価取組マニュアル作成 1件 ・集団評価向け研修会の開催 8回 ・農業者向け指導・評価 ・G A Pセミナー等開催 1回 ・農業者向けS－G A P実践農場見学ツアー 2回 イ S－G A P認知度向上 流通・加工業者や消費者のS－G A P認知度を向上させるための取組を行う。 2,114千円 ・量販店等でのS－G A Pコーナー設置 ・農業者と実需者等の意見交換会開催 6回 ・各種イベント等でのP R活動・商談会出展 5回 ・学校給食でのS－G A P食育活動 ウ S－G A P普及推進 S－G A P仕様の改定やS－G A P評価制度運営に必要な指導員や評価員の育成、農業教育機関のG A P取得に対する支援を行う。 4,379千円 ・S－G A P仕様の改定 4仕様 ・S－G A P指導員・評価員の育成 ・農業教育機関G A P取得支援 2校 (2) 事業計画 S－G A P集団評価の促進、実需者・消費者のS－G A P認知度向上促進、S－G A P評価制度運営、S－G A P実践農場の評価 【目標】年間約170戸の農場評価を行う。（5年間で累計1,600戸の評価） (3) 事業効果 持続可能な農業が実現し、安全・安心な農産物の流通量が増加する。					
2 事業主体及び負担区分 (国10/10、県10/10) (1)、(3) (県10/10) (2)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2.6人＝24,700千円									

予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
		国庫支出金							
決定額	△2,957							△2,957	8,323
現計額	11,280	1,973						9,307	